

学科名	生、電、建・デ、情、経				
科目名	英語Ⅱ				
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	前期
必修・選択の別	必修				
担当者	野見山 寿美				
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>(1)英語の基礎レベルの語彙、文法、用法を理解し、使用することができるようになります。  (2)基礎レベルの英語を読んで理解することができるようになります。  (3)基礎レベルの英語を用いて文章が書けるようになります。  (4)異文化、多様性を理解し、国際感覚を身につけることができます。  この科目の修得は、本学部の定めるディプロマポリシー(2)及び(3)の達成に関与しています。</p>				
日程と内容	<p>第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法  予習内容：事前にテキスト中でわからない単語等がある場合、すべて辞書で調べておくこと。日常的にテレビやラジオの英語放送や英語講座で、英語に耳を慣らしておくこと。  予習時間：45分 復習内容：学修した語彙と文法の確認。リスニング問題を再度聞きながら、発音練習をすること。毎回の授業で与えられるテーマにそってライティングの練習をすること。その後課題として提出。  復習時間：45分  *以下、予習、復習内容は同じ。  授業の進め方と概要、成績評価法の説明をします。また予習、復習内容や受講上の注意点も指示しますので、最初の授業は必ず出席してください。テキストを用意することも必須です。</p> <p>第2回 Friends and Family  人と会い、挨拶をして自己紹介をする。家族の紹介をする。人の姿を描写する。  文法項目：現在形のbe動詞、be動詞＋形容詞、be動詞を用いた疑問文</p> <p>第3回 Jobs Around the World  仕事の説明をする。自分の仕事内容について話す。国による仕事の違いを説明する。  文法項目：be動詞の短縮形(否定文)、不定冠詞、be動詞＋冠詞＋形容詞＋名詞の文</p> <p>第4回 Houses and Apartments  家の中を説明する。自分の家について説明する。家財道具を説明する。国による家屋の違いを説明する。  文法項目：there is/there areで始まる文、場所を表す前置詞(in, on, underなど)</p> <p>第5回 Possessions  自分の持ち物、他人の所有物について語る。特別な持ち物について説明する。プレゼントを買う。  文法項目：指示形容詞(these, that等)、名詞の所有格、have動詞</p> <p>第6回 Daily Activities  時間を語る。日常生活について話す。職場、学校での活動内容を話す。将来の職業について語る。  文法項目：現在形(肯定文、否定文、疑問文)、頻度を表す副詞、時間を表す表現</p> <p>第7回 Going There  道を尋ねたり、教えたりする。旅行のルートを考える。交通機関について語る。旅の記録を取る。  文法項目：場所を表す前置詞、命令文、have to</p> <p>第8回 臨時試験  それまでの語彙、表現、文法項目の理解度を確認、後半の講義に生かすための試験を実施します。</p> <p>第9回 Free Time  起きている状況を説明する。電話をかける。能力について語る。スポーツについて語る。  文法項目：現在進行形、能力を表すcanの使い方</p> <p>第10回 Clothes  衣類の説明をする。衣類を買う。服の好みを説明する。服とその色について学ぶ。  文法項目：丁寧表現のcanとcould、likeとdislike</p> <p>第11回 Eat Well  食事の注文をする。パーティの計画を立てる。自分の食生活について語る。健康食について話す。  文法項目：someとany、how muchと how many</p> <p>第12回 Health  身体の不調を訴える。症状を尋ねる。治療法を説明したり、アドバイスを与える。  病気の予防方法を考える。  文法項目：現在形の復習、look＋形容詞、feel＋形容詞、should</p> <p>第13回 Making Plans  特別な日の計画を立てる。伝統的な祝日について語る。人生設計をする。夢や計画を語る。  文法項目：be going to、希望を表すwould like to</p> <p>第14回 On the Move  動作を表す。移民について考える。文法項目：単純過去</p> <p>第15回 Review  半期間に学修した内容を総復習します。重要語句、文法事項、読解のヒント、聴き取りのポイントなど重要なことを復習し、翌回の定期試験に備えます。  定期試験  半期間のまとめのテストを実施します。</p>				
成績評価基準	定期試験	40%	実技		
	臨時試験	20%	部外評価		
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション		
	課題	20%			
	演習		計		100%
授業到達目標の達成度	<p>数人の学生を除いて、中学・高校での英文法や読解力、語彙力の基礎が定着していない学生が多い。よって読む、書くについてもまだまだ低レベルに終始する。何よりも学習量を増やすことが一番だが、英語は優先順位からするとかなり低位置にあるようだ。就職などを見据えて、英語学修の重要性を理解させることが大切であると感じた。</p>				
反省点	<p>文法、読解、リスニング、コミュニケーションと広範囲を網羅しているテキストは、学生にとっては一貫性が無く、使い慣れないようで、戸惑いを感じていたようだ。課題等を頻繁に課して、ターゲットを絞るように務めたが、ポイントを明確に学生に伝えられたか不安が残った。</p>				
来年度の計画	<p>来年度は出来るならば、もう少し学習内容の少ないテキストを用いて、ポイントを絞って、学生が学ぶべきポイントをきちんと把握できるようにしたい。だらだらとテキスト内容を追って行くだけの講義にならないように務める。この先、英語学修の意義、国際社会の身近さ、自分の将来への展望など、学生に英語を学ぶメリットを理解させたい。</p>				
授業評価アンケートに対するコメント	<p>自学の時間が少ない。課題等は与えていたが、それ以外の教材を選ぶことができない、もしくは選ぶ気がないことが良くわかった。よって、指導者の方から、なにがしかのヒントを与えて、自分のレベルや興味に合ったテキスト、もしくはメディア等を選び、進んで自学して行けるようにすべきであると考えている。実際英語に関心があっても、どう学修したらよいか、どのレベルからどのように始めたらよいか、まだわかっていない学生が多くいることに気づかされた。</p>				
履修登録者数	40名	定期試験 受験者数	39名	合格者数	39名
				合格率	98%